

エシカルで地球のミライをかえる！ 食品海外販路開拓オンライン商談会

現在、地域資源を最大限に活用した、あるいは環境負荷を考慮し社会に貢献するエシカル商品への関心が欧州を中心に急速に高まりつつあり、日本国内においても、認知されつつある。

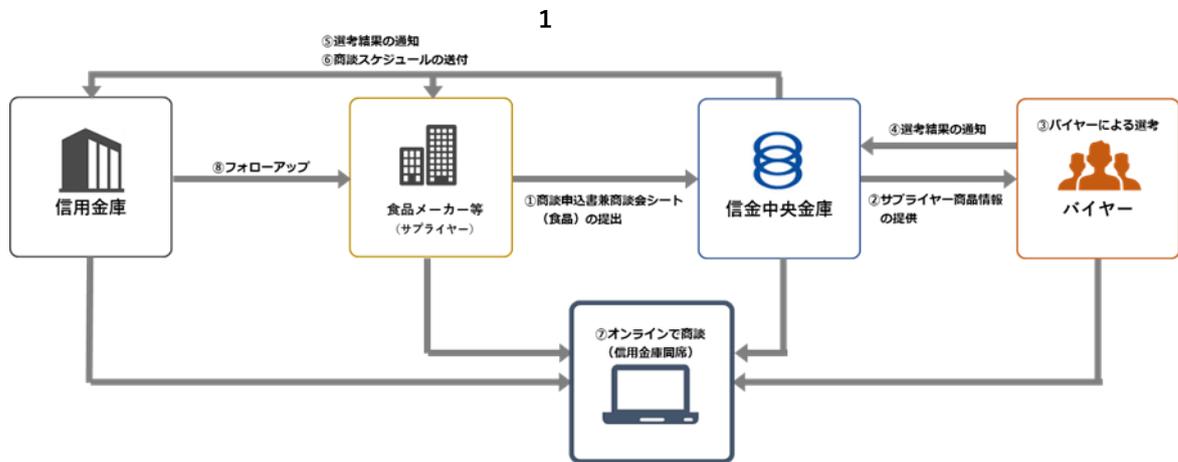
SDGs に取組む事業者の中には、エシカル消費に寄与する商品を製造する先も多く存在することから、信用金庫取引先のエシカル消費に寄与する食品の海外販路開拓支援および SDGs の推進を目的とし、サプライヤーに対してバイヤーとの商談機会を提供するため、以下のとおり「エシカルで地球の未来をかえる！食品海外販路開拓オンライン商談会」を開催します。

商談会の概要

開催日時	2024年1月22日（月）～26日（金）
募集商材	賞味期限6か月以上で、エシカル消費に関する認証マーク※の取得済商品あるいはエシカル消費に寄与し、認証マークの取得を前向きに検討している商品 賞味期限6か月以上で、エシカル消費に前向きに取り組まれているサプライヤーの商品 ※1サプライヤー1商品まで ※対象となる認証マークについては、別紙1をご参考ください。
商談形式	オンライン会議ツール（Zoomを想定）を用いた 事前マッチング型商談会 商談時間は1回30分程度を想定
募集サプライヤー	食品メーカー等 原則として、商品の製造元企業による申込みを受け付けます。
参加予定バイヤー	海外に販路を有するバイヤー（国内商社等）10～15社 現時点の参加予定バイヤーの概要等は、別紙2をご覧ください。 なお、バイヤーは今後増える可能性があります。
参加費	無料 商談に伴う通信費等は、サプライヤー負担とします。

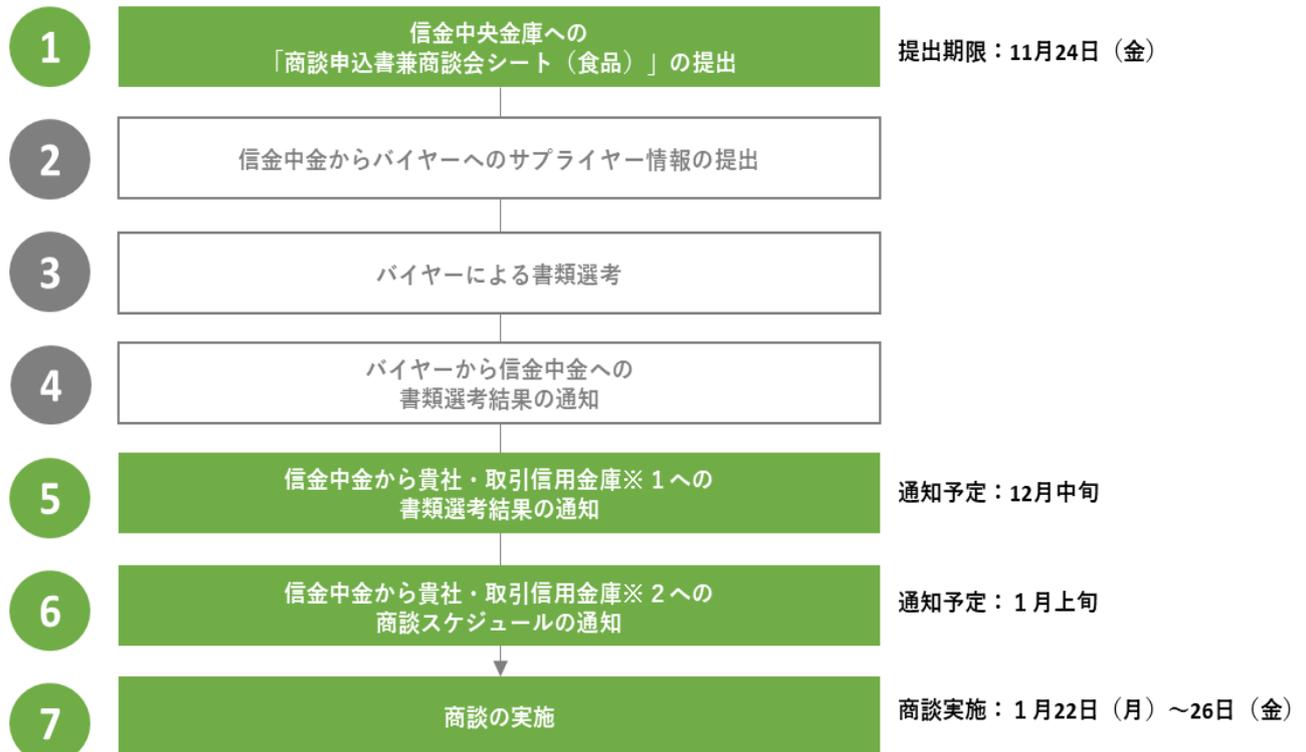
全体像・スケジュール

1 商談会の全体像



2 スケジュール

貴社が関係する手続きについて、濃緑色で示します。



※ 1、2：貴社に取引信用金庫がある場合

申込～商談までの流れ

締切：11月24日（金）

商談申込手続き

Step

1

以下の資料（エクセルファイル）を信用金庫を経由してメールで送付ください。

・商談申込書兼商談会シート（食品）

「商談会シート」にある項目は、すべてバイヤーが商談前に把握しておきたいものであり、事前選考の通過のために非常に重要ですので、可能な限り全ての項目を入力してください。

Step

2

書類選考結果の確認

「商談申込書兼商談会シート（食品）」の情報をもとに、バイヤーによる選考を実施のうえ、信金中金は、12月中旬を目途に選考結果を電子メールにて貴社に通知します。信用金庫と取引があると商談申込書に記載あった場合は、当該信用金庫にも併せて通知いたします。

書類選考の結果、参加が確定した場合

Step

3

商談スケジュールの受領

信金中金より、1月上旬に商談スケジュールを送付します。

商談会 当日

商談会当日の入場時間等について、詳細は商談スケジュールに記載する予定ですので、ご確認をお願いいたします。

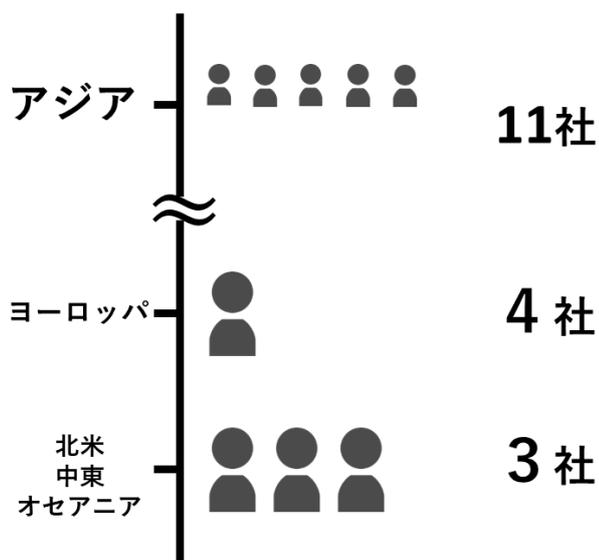
商談会の特長・バイヤーの声

商談会の特長

 <p>商談は、全て日本語で可能です。</p>	 <p>商品の送付は、国内で完結します。</p>
 <p>商品は、バイヤーが買い取ります。</p>	 <p>決済は、国内・円建てとなります。</p>

バイヤーに聞きました！

Q 主な輸出エリアは？



Q どのような商品を求める？

ヴィーガン向け商品



6社から同様の回答あり

お菓子



4社から同様の回答あり

フードロスに配慮した商品



フェアトレードに配慮した商品



飲み物



Q 書類選考の際、特に見る箇所は？

- 会社・商品の詳細
- 賞味期限が1年以上かどうか
- 含有成分について

参考 エシカル消費に関する認証マークの一例

- ・ レインフォレスト・アライアンス認証
持続可能な農業基準に従っていること
バナナ、カカオ、コーヒーなど
参照：[Rainforest Alliance](https://www.rainforestalliance.org/)
- ・ RSPO 認証マーク
持続可能で労働環境にも配慮したパーム油を使用していること
お菓子、カップ麺
参照：[Roundtable on Sustainable Palm Oil](https://www.rsponet.org/)
- ・ MSC 「海のエコラベル」
一定の基準を満たす、健全な漁業で獲られた天然の水産物であること
水産加工品、缶詰
参照：[Marine Stewardship Council](https://www.msc.org/jp)
- ・ マリン・エコラベル・ジャパン認証
「漁業が適切に管理されている」、「対象資源持続的に利用できる水準にある」、「生態系の保全に適切な措置がとられている」などの基準を満たしていること
水産加工品、缶詰
参照：[マリン・エコラベル・ジャパン協議会](https://www.marine-eco-label-japan.org/)
- ・ ヴィーガン認証
植物のみ、もしくは植物と水のみで作られていること。原材料だけでなく、製造工程でも動物性のものを使用していないこと
大豆ミートなど
参照：[Vege Project Japan](https://www.vegeproject.jp/)
- ・ ASC 認証
生態系持続可能性や、水質環境の保全、地域社会への配慮と適切な労働環境、管理体制などの 75 の原則基準を満たしていること
水産加工品、缶詰
参照：[ASC Japan](https://www.asc-aqua.org/)
- ・ 有機 JAS
禁止農薬や化学肥料、遺伝子組換え技術などを使用せず、種まきまたは植付け前 2 年（多年草は 3 年）以上、有機的管理を行った水田や畑で生産されていること
農産物、加工食品
参照：[農林水産省](https://www.affrc.go.jp/)



※本商談会の対象となるか不明な商品がございましたら、信用金庫を通じて信金中央金庫までお問い合わせください。

- ・エコサート認証

完成品の 95%以上が天然由来成分であることなど、規定のオーガニック基準を満たしていること

加工食品

参照：[エコサート認証](#)



- ・USDA オーガニック認証

3年以上化学農薬・化学肥料を使用していない農園で栽培されていること、原料の 95%以上が有機原料であることなど、規定のオーガニック基準を満たしていること

農産物、加工食品

参照：[Agricultural Marketing Service](#)



- ・EU オーガニック認証

有機成分が 95%以上であることなど、規定のオーガニック基準を満たしていること

農産物、加工食品

参照：[European Commission](#)



- ・国際フェアトレード認証

フェアトレード最低価格の保証など「経済的基準」、安全な労働環境など「社会的基準」、農薬、薬品の使用削減と適正使用など「環境的基準」の、3つの原則からなる基準を満たしていること

コーヒー、果物、カカオ

参照：[FAIRTRADE JAPAN](#)



- ・アップサイクル認証

アップサイクル食品や材料の認証制度であり、サプライチェーンに関する文書を提出するとともに、フードロス対策が適切に実行されていることを立証できること

おからで作ったクッキーなど

参照：[Upcycled Food Association](#)



※上は一例であり、参加対象はこれらに限りません。

※本商談会の対象となるか不明な商品がございましたら、信用金庫を通じて信金中央金庫までお問い合わせください。

参加予定バイヤー一覧

企業名	主な輸出エリア	輸送温度帯			コメント
		常温	冷蔵	冷凍	
1 株式会社CHOKA'S	アジア(シンガポール、タイ、インドネシア、台湾、ベトナム、中国、香港)	○	○	×	商談の際の共有資料を提示して頂くと商談がスムーズなので希望します。簡単な会社、商品紹介資料などでも全然問題ないです。
2 愛宕商事株式会社	アジア(モンゴル) ヨーロッパ(ロシア、ハンガリー、旧ソ連諸国)	○	○	○	
3 株式会社ペンギン	アジア(マレーシア、シンガポール、タイ、台湾、ベトナム、大韓民国、中国、香港)	○	×	×	
4 オーウイル株式会社	アジア(中国、香港)	○	○	○	
5 株式会社富士屋商事	アジア(マレーシア、シンガポール、タイ、インドネシア、フィリピン、台湾、ベトナム、大韓民国、中国、香港)	○	×	×	
6 石光商事株式会社	アジア(マレーシア、シンガポール、タイ、フィリピン、台湾、ベトナム、香港)	○	×	○	
7 トップ・トレーディング株式会社	アジア(台湾、香港) ヨーロッパ(フランス) オセアニア(オーストラリア)	○	○	○	賞味期限が1年以上の製品希望します。
8 近藤貿易株式会社	北米(カナダ) アジア(マレーシア、シンガポール、ベトナム、中国、香港) 中東(クウェート、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、カタール)	○	○	○	
9 株式会社メグ	アジア(シンガポール、タイ、台湾)	○	×	×	加工食品の場合、成分を明確に提示していただきたい。
10 名鉄協商株式会社	アジア(シンガポール、台湾、中国、香港)	○	○	○	
11 株式会社交洋	北米(アメリカ、カナダ) アジア(シンガポール、タイ、台湾、ベトナム、大韓民国、中国、香港) 中東(サウジアラビア、アラブ首長国連邦、バーレーン、カタール) ヨーロッパ(イギリス、ドイツ、スイス、オランダ、イタリア) オセアニア(オーストラリア)	○	×	○	

※バイヤーは今後増える可能性があります。